

震災報道の紙面検証

1. 調査項目

- ①各紙の基本スタンスとして、「被災地」「原発」「放射能」「その他」の何に力点を置いているかを検証する。
- ②各紙が被災地サポート情報などの「災害報道」を、どのように報じているかを検証する。
な
- ③そのために、在京紙と被災地の各紙を調べる。

2. 対象紙・期間

<在京紙> 6紙

朝日、毎日、読売、産経、東京、日経

<被災地> 8紙

東奥日報、デーリー東北、岩手日報、岩手日日、河北新報、福島民報、福島民友、いわき民報

*いずれも3月12日朝刊（もしくは夕刊）から1ヶ月間（一部4月12日まで）

3. 調査方法

- ①各紙の1面の記事項目を調べる。具体的には、「トップ」「2番手（一般には左肩）」「3番手」が、上記のどの分野の記事かを調べる。これによって、当該新聞の力点の置き方を知ることができる。
- ②それぞれの記事が、発表モノか独自ネタかを調べる。
- ③その他の特徴的な記事をピックアップして調べる。これによって、当該新聞の紙面構成の特徴を知ることができる。

4. グラフの読み方

縦軸は1面の記事順位を示す。「3＝1面トップ」「2＝2番手」「1＝3番手」を表す。したがって、たとえば、河北新報であれば、「被災」ニュースがほとんどの日付でトップニュースであることを表しており、社の基本スタンスとして被災地ニュースを重視していると推定される。

*ウェブ掲載しているデータはごく一部ですので、そのほかのデータをご希望の場合は、直接、発表者までご連絡いただければ、可能な限り提供します。

以上